



2023/4/14

## アジアをめぐる情勢は？

「今日のウクライナは明日の東アジアかもしれない」とは、防衛大卒業生への訓示でも使われた岸田首相の最近の決まり文句ですが、でもなぜ「東アジア」なのか?!……そこには「ロシア役」を演じるだろう中国や北朝鮮も含まれるわけで、おかしいですね。

本当は明日の「日本」、せめて「台湾」と言いたい。でもそれがNGなことは、外交・国防センスに欠けた岸田首相（核ミサイルに脅かされるウクライナに、よりによって被爆地・広島から「必勝しゃもじ」を贈った人!）でもわかる、ということでしょう。

ウクライナはロシアの文化的ルーツのありか（日本でいえば京都のような）で、それを取り戻すというのは、少なくとも侵攻の建前にはなる。これに対して中国の日本侵攻には、歴史的な建前もこじつけられず、領海が広がって魚が余計に獲れるくらいでは、制裁との差し引きで経済的にもマイナス。つまり中国にとって日本は、ウクライナにはなりえません。

一方、中国の台湾侵攻の可能性は、きわめて低いもののゼロではない。でも、それに対する軍事介入を自衛だと納得するのは、「台湾有事は日本有事」と叫んだ安倍元首相のような極端に偏った認識を持つ人でないかぎり不可能ですし、台湾の名を出せば中国がピリリとくる。それで苦し紛れの「東アジア」なのだと思います。

ただし、中国や北朝鮮が日本を攻撃（侵攻ではなく）してくる恐れは、たしかにあります。ウクライナのNATO加盟の動きが、ロシアの暴挙の直接的なきっかけになったように、米国の「前線基地」としての日本の軍備拡張が、自国への脅威の増大と感じられた場合、それは日本攻撃のきっかけになりうる……いや、それ以外に平和主義国家・日本にミサイルを撃ち込む口実などありえないはずです。

万一「明日の日本」が「今日のウクライナ」になるとしたら、それは軍拡を行なわなかった場合ではなく、歪んだ国防センスのもとでそれを行なってしまった場合なのです。  
(梅丘1丁目・真藤 一彦)



## 「平和、いのち、くらしを壊す大軍拡、大増税に反対する請願署名」 オオゼキ前で実施

4月5日（水）PM1：30～2：30買い物客で賑わうオオゼキ前で、「大軍拡、大増税に反対する請願署名」を行いました。準備中に若い男性が、左右から2名、サッサと記名し立ち去って行きました。若い姉妹が話し合い署名。署名はしていただけませんでした。お話ししていることは本当ですか。知人が広島で原爆にあったので怖いですね」と語る高齢の婦人。片付けようとしている時に「九の字が見えたので」と、背広姿の男性が駆け寄ってきて署名を行いました。8人の参加で15名の署名が集まりました。「敵基地攻撃能力」の保有で長射程ミサイルを配備、報復に備え全国300地区の自衛隊基地・防衛省施設を強靱化し、核攻撃に耐えられるようにする。岸田大軍拡で日本中が焦土になる危険が高まっています。高齢の婦人が話した「本当でしょうか」の声を「私も署名します」に出来るようにしたいと強く思いました。  
(代田5丁目・小澤 清子)

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 ++



## 3・21 さようなら原発全国集会、代々木公園にて開催

3年ぶりの「全国集会」は、3月3日に亡くなられた会の呼びかけ人の大江健三郎さんへの追悼の黙禱から始まりました。続いて呼びかけ人の鎌田慧さん、澤地久枝さんは岸田首相の原発政策への憤り、脱原発への強い思いを語りました。

94歳になられた澤地さんの凛とした通る声に励まされる思いがしました。

落合恵子さんは大江さんのデモ行進に「いつもの歩幅で頭を上げて歩く姿」に「自分のお腹の底に自分との誓いをストンと落として生きる！」ことを学んだと話しました。

福島からは「これ以上海を汚すな！市民会議」代表の佐藤和良さんは岸田首相の「原発回帰政策」を厳しく批判し「福島をわすれないということは原発回帰を許さないことだ」と怒りを込めて訴えました。放射能汚染水海洋放出に福島では7割の人が反対、薄めて流しても放射能の総量は変わらないと述べたのです。

同じく福島の「3・11 子ども甲状腺がん裁判」支援者の阿部ゆりかさんは原告の女性たちからのメッセージを代読しました。

労働組合青年部を中心に行動する福島連帯キャラバンからは、18日からの福島～茨城～東京での脱原発の訴えや、東海原発がある自治体への申し入れの活動報告がありました。

このほかに「避難協同センター」の熊本美禰子さん、柏崎刈羽原発再稼働おことわりグループ、原子力資料情報室事務局長の松久保肇さん、脱原発首長会議・元湖西市長の三上元さんらの訴えがありました。

集会に参加して政府の原発政策大転換にもっとしっかり抗議行動をしなければと改めて思ったのでした。当日の参加者は4700名でした。  
(代田5丁目・日暮恵子)



### 集会等の紹介

5月3日(水・休) 13:00～メインステージ 14:30～デモ

あらたな戦前にさせない！

守ろう平和といのちとくらし2023 憲法大集会

場所：有明防災公園 (りんかい線・有明駅下車)

主催：平和といのちと人権を！5.3 憲法集会実行委員会

5月20日(土) 13:30～16:00頃 憲法記念日によせて

トーク：四谷姉妹：岸松江&青龍美和子・弁護士

(東京法律事務所所属)

場所：東京都民教会 (下北沢駅下車徒歩約5分)

共催：代田・九条の会/代沢九条の会/九条の会まつざわ

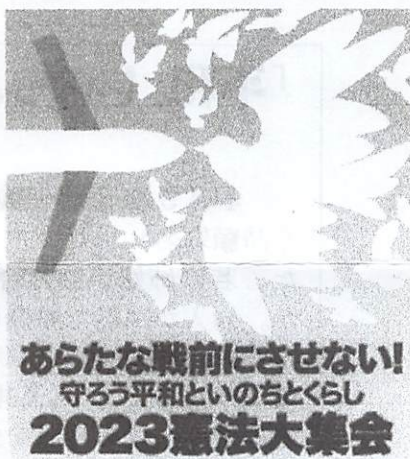
5月28日(日) 13:00～16:30

大軍拡反対、憲法改悪を止めよう！九条の会全国交流集会

大江健三郎さんの志を受けついで

場所：日本教育会館・第一会議室 (東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)

主催：九条の会事務局





# 憲法記念日によせて



代田・九条の会

代沢九条の会

共催

九条の会まつざわ

5月3日は憲法施行の76回目の記念日。憲法9条に自衛隊を明記するという改憲案が出されています。平和を守ってきた憲法は非常に危ないところです。

「戦争をしない国」日本、をしっかりと守って、「日本国憲法 第9条」を次の世代に無傷で手渡すために、憲法漫才と講演を聞いて、憲法をめぐる状況を考えましょう。誘い合わせてこそってご参加ください。(資料代500円：高校生300円)

とき：5月20日(土)午後1時30分～4時頃

ところ：東京都民教会 礼拝堂

世田谷区代田5-35-2

「四谷姉妹の憲法漫才」& 講演

四谷姉妹

(岸松江 弁護士)

青龍美和子 弁護士

東京法律事務所所属

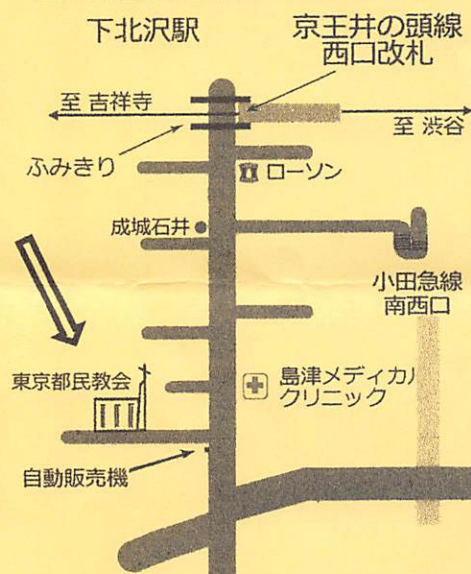


## 四谷姉妹

服装も髪型もお笑い芸人「阿佐ヶ谷姉妹」をまねて2018年冬に「四谷姉妹」を結成。名前は所属している東京法律事務所が四谷にあることから命名。「憲法が私たちの暮らしや権利を守ってくれる。それを関心のない人にも広く知ってほしい」との思いで憲法を漫才で紹介する活動を続けている。

職業は弁護士。岸松江さんは、DVやハラスメントなど離婚や相続など一般民事や労働事件など、青龍美和子さんは福島原発事故の被害救済や沖縄基地問題などにとりくんでいる。2人とも講演会や学習会の講師を数多く行っている。

日本キリスト教団・  
東京都民教会



連絡先

代田・九条の会

小澤 清子 (Tel 3487-3985)

伊東 宏 (Tel 090-6488-0649)